

平成30年度 租税教育実践例（第6学年）

登米市立宝江小学校

教諭 遠藤 寛樹

1 単元名 「私たちの生活と政治」

小単元名「復興支援の願いを実現する政治」

2 小単元の目標

政治は国民生活の向上と安定を図るために大切な働きがあることを理解し、わが国の政治の働きを東日本大震災の復興との関わりから考えようとする。

3 単元について

本単元は、学習指導要領の目標「(2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。」の内容について学習する単元である。

4 児童の実態（男9名，女12名，計21名）

児童全員が消費税の言葉を知っていたが、他の税の種類について知っている児童は少なかった。2019年10月から消費税が8パーセントから、10パーセントに引き上げられることを知る児童も6名だった。以上の実態から、本単元を通して税金の働きや意味をきちんと理解させていきたい。

5 指導の着眼

- 佐沼税務署の方に講師としておいでいただき、税の仕組みについて小学生に分かりやすく説明をしてもらう。
- 東日本大震災の復興にも、道路や橋などの公共事業について税金が使われていることを知ってもらう。
- 社会科学習の国民の三大義務（納税）と関連させた授業を展開する。
- 税に関する絵はがきコンクールに学級全員で取り組みませ、税に関する関心を高めさせる。

6 単元の目標

地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。

7 学習計画

時	学習内容	指導上の留意点
1	【東日本大震災の発生】 ・東日本大震災発生後の復旧の様子を知り，学習課題をつくる。	・建物崩壊や津波の内容に配慮させる。 ・被災者の気持ちを考えさせる。
2	【東日本大震災への緊急対応】 ・東日本大震災発生直後の行政（市，県，国）の取組について話し合う。	・震災発生から行政（市，県，国）の取組で，電気，水道，食料，ガソリン等を優先事項として対応していたことに気付かせる。
3	【災害復旧に向けた国の支援】 ・災害復旧の取組は，国の政治の働きによるものであることを理解する。	・震災発生から，短い期間で予算や法律が決まったことに気付かせる。 ・行政（市，県，国）が連携して取り組んでいることに気付かせる。
4	【税金について調べる】 ・税金とは何か，なぜ納めるのか，タブレットを使って調べる。	・調べたことをワークシートにまとめ，友達と見せ合う活動を取り入れる。
5 本時	【税金の働きを調べる】 ・税金の使われ方について知る。 ・税金の大切さについて理解する。	・税金がどのような用途に使われているのか知るとともに，税金の必要性について考えさせる。
6	【復興を願う町や町民の取組】 ・復興に向けて南三陸町の取組や願いについて知る。 ・南三陸町の「きりこ」活動の取組について知る。	・南三陸町の復興に対する取組や願いを HP 等で調べさせる。総合的な学習の時間で触れた南三陸町の「きりこ」活動を想起させる。 ※「きりこ」とは，半紙で作る神棚飾りのこと。
7	【様々な支援と絆】 ・復興に向けた様々な取組の中で，多くの支援や願いがあったことを理解する。	・南三陸さんさん商店会の願いが復興に結び付いていることを紹介する。 ・被災地の公共施設（道路，信号機，橋等）の整備が進んでいることを知らせる。
8	【学習のまとめ】 ・学習したことを振り返り，税の絵はがきコンテストに応募する。	・これまで学習してきたことをワークシートに振り返らせる。 ・学級全員で税の絵はがきコンテストに応募させ，税に関する関心を高めさせる。

8 本時の学習

(1) 指導について

【本時の目標】

- ・税金の使われ方と働きについて知り，税金の大切さを理解する。

【評価基準】

- ・税金の働きについて関心をもち，意欲的に調べようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・税金の働きについて正しく理解している。(知識・理解)

(2) 学習過程

段階	○学習活動 ・児童の反応	指導上の留意点
導入	○本時の学習課題を知る。 税金の大切さを知ろう。	・前時で学習した税金について覚えていることを想起させる。
展開	○ゲストティーチャーから税金について学ぶことを知る。 ○知っている税金を挙げる。 ・消費税 ・住民税 ・たばこ税 ・ガソリン税 ○国税と地方税について知る。 ○1億円のレプリカを持ち，お金の重みを実感する。 ・とても重い。 ○税金の使われている施設とそうでない施設を分類する。 ○DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を観る。 ・税金がないと，消防や警察の仕事が有料になってしまう。 ・税金の大切さを知った。 ○国民の三大義務を知る。	・税務署の仕事内容について簡単に触れさせる。 ・衣食住を想起させ，自由に話し合わせる。 ・登米市内の商業施設など児童にとって身近な施設の写真を提示する。 ・視聴前に現在の消防や警察の仕事内容を想起させる。 ・視聴後，消防や警察，信号機など，税金が使われていることを理解させる。
終末	○学習の振り返りをする。	・本時の学習を振り返らせ，学習内容を深める。 評価

9 税に関する絵はがきコンテストの取組

児童が租税教室で学んだことを生かして、税に関する絵はがきコンテストに全員で応募した。作品の完成後は、友達同士で発表し合い、税金に関する興味・関心を高めることができた。

【税に関する絵はがきコンテスト応募作品（一部）】

